

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 28 年 3 月 10 日 (2016.3.10)

【公開番号】特開 2015-225034 (P2015-225034A)
 【公開日】平成 27 年 12 月 14 日 (2015.12.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-078
 【出願番号】特願 2014-111454 (P2014-111454)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 25/18 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 25/18 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 1 月 18 日 (2016.1.18)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 7】

また、表裏面からの放射に関する定数 ϵ_1 、 ϵ_3 は、以下のように示される。

$$\epsilon_1 = 4 \epsilon_1 T_0^3$$

$$\epsilon_3 = 4 \epsilon_3 T_0^3$$

そして、第 2 層内部からの放射に関する定数 ϵ_2 は、以下のように示される。

$$\epsilon_2 = e_1 n^2 T_0^3$$

なお、上記した e_1 は定数（例えば、 $e_1 = \frac{4}{3}$ があるが、放射や吸収のモデルのたて方により多少異なるものと考えられ、 $e_1 = \frac{3}{2}$ / 3 等もある。）であり、 ϵ はステファンボルツマン定数である。また、3 層材の裏面温度の減衰を時定数 τ として定義する。

以上のことから、第 2 層である測定試料 1 1 内部の単位体積、かつ、単位時間当たりに放射されるエネルギー q は、(1 2) 式で与えられる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 9】
 【数 9】

$$e_2 \div 1.8 \quad (25)$$